

第三者評価結果（山口県立育成学校）

1 支援

(1) 支援の基本		第三者 評価結果 (abc評価)
①	子どもを理解・尊重し、その思い・ニーズをくみ取りながら、子どもの発達段階や課題に考慮した上で、子どもと職員との信頼関係の構築を目指している。	b
②	子どものニーズをみたすことのできる日常的で良質なあたりまえの生活を営みつつ、職員がモデルとなることで、子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている。	b
③	集団生活の安定性を確保しながら、施設全体が愛情と理解のある雰囲気に入れられ、子どもが愛され大切にされていると感じられるような家庭的・福祉的アプローチを行っている。	b
④	発達段階に応じて食事、睡眠、排泄、服装、掃除等の基本的な生活習慣や生活技術が習得できるよう支援している。	a
⑤	多くの生活体験を積み重ね、子どもがその問題や事態の自主的な解決等を通して、子どもの健全な自己の成長や問題解決能力を形成できるように支援している。	a
⑥	子どもの行動上の問題を改善するために、自ら行った加害行為などと向き合う取組を通して自身の加害性・被害性の改善や被害者への責任を果たす人間性を形成できるように支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>・「個別指導マニュアル」に基づき、子ども一人一人の特性や思いに合わせた支援ができていることが職員からのヒヤリングにより確認できました。</p>		

(2) 食生活		第三者 評価結果 (abc評価)
①	団らんの場として和やかな雰囲気の中で、食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、子どもの嗜好や栄養管理にも十分な配慮を行っている。	a
②	子どもの生活時間にあわせた食事時間の設定を含め、子どもの発達段階に応じた食習慣の習得など食育を適切に行っている。	b
③	自立に向けた食育への支援を行っている。	a
(3) 衣生活		
①	衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供し、衣習慣を習得できるよう支援している。	c
(4) 住生活		
①	居室等施設全体が、子どもの居場所となるように、安全性、快適さ、あたたかさなどに配慮したものにしている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>・職員からのヒヤリングにより、敷地内で育てた野菜の収穫祭を実施したり、天気の良い日には屋外を食事場所としたり、和やかな食事の雰囲気作りに努めておられることが確認できました。</p> <p>・子どもは登校時だけでなく、休日においてもジャージを着用していることから、TPOに合わせた服装に配慮しているとは言い難い点があります。</p>		

(5) 健康と安全	第三者 評価結果 (abc評価)
① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気等）や安全について自己管理ができるよう支援している。	a
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a
(6) 性に関する教育	
① 子どもの年齢、発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもによる「健康観察簿」の記入、うがいや手洗いの励行を職員自らが手本となり促すことによって、子ども達の習慣となっています。身体の健康や安全についての自己管理ができる支援が行えていると判断しました。 ・性に関する教育については自己評価に書かれているとおり具体的な性教育プログラムがないため、用意されることが望ましいです。 	

(7) 行動上の問題に対する対応	第三者 評価結果 (abc評価)
① 子どもが暴力、不適応行動、無断外出などの行動上の問題を行った場合には、関係のある子どもも含めて適切に対応している。	b
② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体に徹底している。	b
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a
(8) 心理的ケア	
① 被虐待児など心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設職員間同士、あるいは施設職員と分校職員間の情報共有は日常的に行われていますが、暴力やいじめが発生した場合を想定して全職員が適切な対応ができるように、マニュアルを作成されることが望ましいです。 ・配置心理士によるカウンセリング実施後の注意ポイント事項等が寮の職員に引き継がれており、継続した心理的支援が行われています。 	

(9) 主体性、自律性を尊重した日常生活	第三者 評価結果 (abc評価)
① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの課題として主体的に考えるよう支援している。	b
② 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念や生活技術が身につくよう支援している。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭の管理は全て職員が行っており、使途について子どもの意向が反映されていません。子どもの自立する力と自主性を尊重した生活技術向上のための支援が必要であると思われます。 	

(10) 学習支援、進路支援、作業支援等		第三者 評価結果 (abc評価)
①	学習環境の整備を行い、個々の学力等に応じた学習支援を行っている。	b
②	「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
③	作業支援、職場実習や職場体験等の機会を通して、豊かな人間性や職業観の育成に取り組んでいる。	a
④	施設と学校との親密な連携のもとに子どもに対して学校教育を保障している。	a
⑤	スポーツ活動や文化活動を通して心身の育成を図るとともに、忍耐力、責任感、協調性、達成感などを養うように支援している。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師による職業講話や、山口県消防学校での職業体験等の機会を設けておられ、子ども自身による進路の自己決定促進や、子どもの職業観の育成に取り組んでおられます。 ・スポーツ活動、着物の着付けや生け花教室等の文化活動（伝統文化教室）を通して、協力やチームワーク等、子どもの社会性を育てる支援への具体的な取組が感じられます。 ・施設の中に分教室、分校があり学校教師と十分な連携がとられていましたが、辞書や参考書等の学習に必要な書籍が古いままでした。 		

(11) 継続性とアフターケア		第三者 評価結果 (abc評価)
①	措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	b
②	家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a
③	子どもが安定した社会生活や家庭生活を送ることができるよう、通信、訪問、通所などにより、退所後の支援を行っている。	a
(12) 通所による支援		
①	地域の子どもの通所による支援を行っている。	na
(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
<ul style="list-style-type: none"> ・退所後も定期的に電話や訪問を行ったり、子どもや保護者からの相談にも応じられていました。 ・通所支援は実施されていないため評価外としますが、児童自立支援施設の機能を有効に活かして、地域の子どもの健全育成のための子育て講座や子育て支援プログラムの実施が望まれます。 		

2 家族への支援

(1) 家族とのつながり		第三者 評価結果 (abc評価)
①	児童相談所と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	b
②	子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	b
(2) 家族に対する支援		
①	親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の行事への案内、面会、一時帰宅などにより子どもと家族との関係づくりを積極的に行っていました。また、担当専門員がファミリーソーシャルワーカーの役割を担い、親子関係の再構築にも取り組んでおられました。 		

3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定	第三者 評価結果 (abc評価)
① 子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、アセスメントに基づき、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	b
② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	b
③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	b
(2) 子どもの支援に関する適切な記録	
① 子ども一人一人の支援の実施状況を適切に記録している。	b
② 子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	a
③ 子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者等に関する記録はパソコンで管理されており、情報共有のための具体的な取り組みとして評価できます。 ・アセスメントは行われてはいますが、子ども一人一人の課題抽出が不十分です。アセスメントに基づいて自立支援計画が立案されてはいますが、担当者任せになり、児童、職員全員が把握しているとは言い難いです。 	

4 権利擁護

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者 評価結果 (abc評価)
① 子どもを尊重した支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の支援において実践している。	b
③ 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	b
④ 特別プログラムなど子どもの行動などの制限については、子どもの安全の確保等のために、他に取るべき方法がない場合であって子どもの最善の利益になる場合にのみ、適切に実施している。	b
⑤ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	c
⑥ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	a
(2) 子どもの意向や主体性への配慮	
① 子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、支援内容の改善に向けた取組を行っている。	a
② 子ども自身が自分たちの生活全般について自主的に考える活動を推進し、施設における生活改善や自立する力の伸長に向けて積極的に取り組んでいる。	b
③ 施設が行う支援について事前に説明し、子どもが主体的に選択（自己決定）できるように支援している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「育成学校基本理念」は子どもを尊重した支援について明示されており、校内研修を通じて職員に共通の理解を持つための取組が行われていました。 ・子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアルが整備されていない。施設の特性上、制限が多いのは仕方ないが、制限の中でも子どもが主体的選択（自己決定）できる機会を増やしていくことが望まれます。 	

(3) 入所時の説明等	第三者 評価結果 (abc評価)
① 子どもや保護者等に対して、支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	a
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
(4) 権利についての説明	
① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	b
(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
① 子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	a
② 苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	a
③ 子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	a
(6) 被措置児童等虐待対応	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	b
(7) 他者の尊重	
① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所時に開催する入所式において「育成学校のくらし」を配布し、支援内容を分かりやすく説明されていることが評価できます。 ・職員からのヒヤリングにより、教育相談として別寮担当の職員が相談を受けることができる体制が確認でき、相談相手を選べる環境として整備されていることが理解できました。 	

5 事故防止と安全対策

		第三者 評価結果 (abc評価)
①	事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a
②	災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	a
③	子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練は毎月行われており、安心して生活できる環境作りがされていました。薬品、刃物など危険物に対する管理徹底も、十分されていました。服薬管理も保管庫には施錠がなされて管理が行き届いていることが確認されました。今後は取組を見直したり、検討を行うことを定期的にされることが望まれます。 		

6 関係機関連携・地域支援

		第三者 評価結果 (abc評価)
(1) 関係機関等との連携		
①	施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	c
②	児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	b
(2) 地域との交流		
①	子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	a
②	施設が有する機能を、地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	b
③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	c
(3) 地域支援		
①	地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	c
②	地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設としての歴史があり、長い時間をかけて構築された地域とのつながりを大切にしておられます。また、スポーツ交流会や地域行事において和太鼓の披露が定期的実施されています。 ・ 社会資源のリストを作成し、連絡方法が一目で分かるように職員間で情報を共有されることが望ましいです。 ・ ボランティア受け入れはなされていましたが、ボランティア受け入れに対する基本姿勢や受け入れマニュアルが必要です。 		

2 職員の資質向上

		第三者 評価結果 (abc評価)
①	組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	b
②	職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	c
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	c
④	スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度から校内研修を始めており、全体に向けての研修は適切に実施されていましたが、職員一人一人についての個別の研修計画が策定されませんでした。 ・ 7年前からは施設で正規職員を採用されていますので、職員の資質向上のためにも、組織としての職員の研修に関する基本姿勢に沿った教育・研修計画の策定が望まれます。 		

8 施設の運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知	第三者 評価結果 (abc評価)
① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a
② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	a
③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a
④ 運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	c
(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	
① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	c
② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	c
③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	b
④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	b
⑤ 事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営理念を明文化して施設内に掲示していることが確認できました。また、その理念は「理念を支える考え方」との整合性が取れており、基本方針となるものでした。 ・「パンフレット」や入所時に児童や保護者に配布する「育成学校のくらし」には運営理念が記載されておらず、運営理念を子どもや保護者等に周知していく工夫が望まれます。 ・中・長期計画を策定し、これに基づいた単年度事業計画の策定が望まれます。 	

(3) 施設長の責任とリーダーシップ	第三者 評価結果 (abc評価)
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a
② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	a
③ 施設長は、支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a
④ 施設長は、施設の経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a
(4) 経営状況の把握	
① 施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	b
② 運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	b
③ 外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	c
④ 運営内容（決算内容等）の開示が適切に行われている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設長は着任1年目ですが、職員会議で施設の方向性を明らかにするなどリーダーシップを発揮し、施設の経営や業務の改善に向けて積極的に取り組んでおられることが確認できました。 ・運営内容（決算内容等）が求めに応じて開示可能であるが、自ら開示していくような取組が求められます。 	

(5) 人事管理の体制整備	第三者 評価結果 (abc評価)
① 施設が目標とする支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	c
② 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	a
③ 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	a
④ 職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	a
(6) 実習生の受入れ	
① 実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事考課が行われ、有給休暇の消化率や時間外労働のデータを定期的にチェックし改善に取り組んでおられました。 ・県立の施設であるため施設の思い通りにはなりにくいですが、施設として必要な人材や人員体制に関する具体的な計画を持つことが望まれます。 	

(7) 標準的な実施方法の確立	第三者 評価結果 (abc評価)
① 支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	b
② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	b
(8) 評価と改善の取組	
① 施設運営や支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	b
② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が今年度の第三者評価を受けることを目標に、自己評価を行い、かつ、職員が評価の検討を行ったことは、全職員が何らかの課題を見つける一つになっていました。このこと自体が第三者評価を受ける意義そのものと思われれます。 ・「支援計画」「段階別プログラム」は作成されていますし、職員会議等で共通理解も図られていましたが、計画が全職員に共通認識されていませんでした。 ・支援計画等の定期的な見直しが行われていませんでした。 	